

○議 事 日 程

令和7年11月18日（火）午後3時00分開会

令和7年度第3回守口市まち・ひと・しごと創生委員会

○出 席 委 員 （9名）

委員長	眞 鍋	昇	委員
	喜 納 厚	介	委員
	乾	浩 一	委員
	高 田 友	成	委員
	小 西 雅	晴	委員
	渡 部 恭	子	委員
	廣 野	愛	委員
	吉 川 江	里	委員
	玉 野 裕	子	委員

○欠 席 委 員 （6名）

副委員長	山 口 行	一	委員
	花 木 完	爾	委員
	宮 前	能	委員
	北 川 恵	一 郎	委員
	平 野 哉	枝	委員
	軸 原	修	委員

○事務局

企 画 財 政 部 長	林 慶
企 画 課 長	内 橋 真 吾
企 画 課 長 代 理	佐 藤 利 秀
企 画 課 主 任	山 本 晋 士
企 画 課 主 査	阪 口 智 彦
魅 力 創 造 発 信 課 長	藤 井 佐 知 子
魅 力 創 造 発 信 課 長 代 理	西 尾 直 樹



◇ 午後3時00分 開会

○委員長 定刻となりましたので、令和7年度第3回守口市まち・ひと・しごと創生委員会を開催させていただきます。

皆さん、本当にお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本委員会は、議事録作成の都合上、録音させていただいております。よろしく願いいたします。

では、事務局より本日の出席委員の数について、報告をお願いします。

○事務局 本日の出席委員数は、定数15名中9名でございます。

○委員長 ただいま事務局から報告がありましたとおり、守口市まち・ひと・しごと創生委員会条例第5条第2項の規定に基づき、定足数を達しておりますので、会議は成立いたします。

引き続きまして、事務局から本日の資料等について、説明をお願いいたします。

○事務局 本日の資料に関して、御説明いたします。

委員会全体の資料については、事前に各委員にメールにて一式を送付させていただいております。

本日の会議資料につきましては、お手元のパソコンに同じものを御用意しております。次第及び資料、そして参考として、第2期戦略のデータと委員名簿を格納しております。

なお、資料ごとの説明は割愛いたしますので、恐れ入りますが、お手元のパソコンにより御確認いただきますようお願いいたします。操作など、御不明な点がございましたら、事務局までお声がけください。

また、本日、机上に2点、資料を配布させていただいております。1点目の資料は、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）変更一覧」で、こちらについては後ほど説明させていただきます。

2点目は、タイトルが「第3期戦略の策定について」となっているA4、1枚ものの資料でございます。まず、こちらについて御説明させていただ

きます。

この資料は、「第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて取組体制等を改めて確認していただくために作成したものでございます。

まず、資料上段の取組体制といたしましては、本日開催しております「守口市まち・ひと・しごと創生委員会」において、今年度の戦略の策定段階では「戦略策定への意見・提案」を、戦略の推進段階では「戦略の推進への助言、進行管理」を実施する体制となっております。

続いて、「会議の進め方」についてでございますが、右側の創生委員会の部分をご覧ください。

今年度、計4回の会議を予定しており、本日が第3回会議として、「KPI、取組内容等（市素案）に関する意見・提案の聴取」を行い、次回の第4回会議で「第3期戦略（全体板）（案）の確認、答申」を予定しております。

説明は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

その点につきまして、皆様から何か御質問とかございますか。よろしいでしょうか。

それでは引き続き、資料の説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、「第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」、御説明いたします。

内容に入ります前に、1点御報告がございます。

本委員会の資料は、11月14日に委員の皆様へ送付したところですが、資料1の「第3期戦略案」について、お手元のパソコンに格納しておりますものは、先日送付したものから一部修正しております。

修正箇所は、机の上に置かせていただいて資料のとおりとなっております。該当箇所、修正前・後の内容を記載しておりますので、誠に恐れ入りますが、御確認いただきますようお願いいたします。

それでは、第3期戦略案の内容について、御説明いたします。

恐れ入りますが、資料1「第3期戦略案」の31ページをご覧ください。

第3期戦略の策定については、第2回の会議において、第3期戦略に定める守口創生の基本理念や4つの基本目標、基本目標ごとに定める数値目標、取組の基本的方向の案をお示ししたところです。

今回は、基本目標の取組の基本的方向ごとに、それぞれ重要業績評価指標（KPI）や第3期戦略で行う取組の案を作成しましたので、御説明いたします。

まず、31ページをご覧いただきまして、資料では、基本的方向ごとにKPI、第2期戦略から継続する取組及び第3期戦略での新たな取組を記載しております。

第2期戦略から変更した部分は、赤字でお示ししております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」には、第3期戦略から行う新規の取組や、第2期戦略から継続して行う取組ではありますが、今後拡充して行うものを記載しております。

主にKPIと第3期戦略での新たな取組部分について、変更箇所を中心に説明させていただきます。

31ページ、基本目標1「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」の基本的方向1「若い世代がライフデザインを描くことを支援する」に関して記載しております。

「KPI」については、第2期戦略から定める3つのKPIに加え、新たに4つ目として、「プレコンセプションケアに関する講座の参加数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「守口市で学ぶ子どもたちに対するキャリア教育の実施」を、新規の取組として「プレコンセプションケアの推進」を記載しております。

続きまして、33ページにまいりまして、次に、基本的方向2「若い世代の結婚・妊娠・出産を支援する」に関してでございます。

K P I については、1つ目は、第2期戦略に定めている「妊娠から出産までに子育て世代包括支援センターの専門職による相談・支援等を受けた人の割合」を「妊娠期及び出産後にこども家庭センターの専門職による面談等を受けた人の割合」に修正しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」として、拡充する取組としては「若い世代が会う機会創出の支援」を、新規の取組として「妊産婦へのタクシー利用支援」を記載しております。

続きまして、34ページにまいりまして、基本的方向3「若い世代の子育てを支援する」に関してでございます。

K P I については、新たに1つ目の「産婦健診の受診率」と、3つ目の「産後ケアの利用者数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「出産後の支援」、「子ども医療費の助成」、「子育て世帯に選ばれるよう良いイメージできる魅力的な情報発信」を記載しております。

次に、少し飛びまして、37ページに移ります。

基本目標2「守口のさらなる『まちの魅力』を創造し、広く発信する」の基本的方向1「守口の『まちの魅力』を広く情報発信する」に関してでございます。

K P I については、1つ目の「アンケートにおいて市民が思う守口の魅力『まちのイメージ』」を「アンケートにおける『守口市のイメージ』の肯定的回答」に修正しております。また、新たに3つ目のK P I として「来訪者数増加を目指した市のSNS発信件数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「守口市の魅力を広く発信するシティプロモーション活動の展開」、「公民連携による、新たな広報媒体やSNS等を活用し、まちの魅力のさらなる発信」、そして「守口に新しく住み、働き始めた人に、守口の魅力伝える」を記載しております。

39ページにまいりまして、次に、基本的方向2「若い世代を含む多くの

方が守口をふらっと訪れる機会を提供する」に関してでございます。

K P Iについては、2つ目、第2期戦略に定める「新たな魅力創出をめざしたイベントの件数」を「守口市の魅力を知り、訪れる機会を創出するイベントの開催件数」に修正するとともに、新たに3つ目として「旧徳永家住宅において実施するイベントの件数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「魅力拠点と来訪者の滞在環境の整備」を記載しております。

次に、41ページにまいりまして、基本的方向3「若い世代を含む多くの人が「住む」魅力を感じる環境を提供する」に関してでございます。

K P Iについては、1つ目を、第2期戦略に定める「アンケートにおいて市民が思う守口の魅力『まちの賑わい』」から「アンケートにおける『今後も守口市で住み続けたいか』の肯定的回答」に修正するとともに、新たに4つ目として、「青少年健全育成協力数『少年を守る店』運動協力店舗数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「公園やまちを美しく保つための取組」、「守口市駅前周辺の魅力づくり」、「子育て親子など地域住民が安心して暮らせる『安全なまち守口』をつくるための防犯」、「『こども110番の家』運動等の推進」、そして「中心市街地におけるエリアマネジメントの推進」を記載しております。

次に、とびまして、45ページにまいります。

基本的方向3「子育てファミリー世帯の守口定住を促す」の基本的方向1「0歳からの充実した教育・保育サービスで安心の子育て・健やかな子育てを支援する」に関してでございます。

K P Iについては、第2期戦略に定めている「4月1日時点の厚生労働省の待機児童数」を「4月1日時点の未利用児童数」に変更しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として「病児・病後児保育の実施」を、新規の取組として「放課後児童健全育成事業の利用者等の選択肢の拡大」と「保護者の多様な働き方やライフス

マイルにかかわらない形での支援」を記載しております。

47ページにまいりまして、次に、基本的方向2「暮らしと仕事とのバランスが取りやすい環境を提供する」に関してでございます。

KPIについては、新たに2つ目として「両親教室や父親を対象とした育児に関する講座に参加した人数」を設定しております。

48ページにまいりまして、次に、基本的方向3「子どもとお出かけがしやすい環境の提供や地域とのつながりを支援する」についてでございます。

KPIについては、1つ目は、第2期戦略に定める「公園の整備・再整備数」を修正したもので、3つ目と4つ目は第2期戦略に定める「登下校時の交通事故発生件数」を修正したものとなっております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として、「公園をより魅力的な場とする運営」、「公園の計画的な整備・改修」、そして「安全で快適な歩行空間の整備」を記載しております。

次に、少しとびまして、52ページにまいります。

基本目標4「良いイメージをもって守口を誇りに思う子どもを増やし、育てる」の基本的方向1「変化に対応できる確かな学ぶ力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する」に関してでございます。

KPIについては、第2期戦略に定める2つを修正し、資料のとおり4つを設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として、「学力向上に向けた取組」と「食育の充実」を、新規の取組として、「幼保こ小連携の推進」と「日常的な運動づくり」を記載しております。

55ページにまいりまして、次に、基本的方向2「子どもたちが熱中できることに会う機会を提供する」に関してでございます。

KPIについては、第2期戦略に定めていた「学校支援ボランティアの人数」を削り、新たに2つ目と3つ目を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として、「青少年の活動への支援」と「子どもが楽しめるイベント等の充実と

その情報発信」を記載しております。

56ページにまいりまして、次に、基本的方向3「子どもたちが社会の秩序を守り、社会や世界に貢献する意識を育む」に関してでございます。

KPIについては、1つ目は第2期戦略に定めていたものを修正するもので、2つ目として、新たに「環境啓発イベントの参加人数」を設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、新規の取組として、「脱炭素社会の実現を目指した啓発活動の推進」を記載しております。

57ページにまいりまして、次に、基本的方向4「子どもから若い世代までが集い、仲間づくりがしやすい環境を提供する」に関してでございます。

KPIについては、2つ目として「地域館として認定した地域集会所の数」を新たに設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として、「コミュニティセンター等における市民活動の支援」と「若い世代の様々な活動の成果を披露する機会の提供」を記載しております。

最後に、58ページにまいりまして、次に、基本的方向5「若い世代がより良い守口づくりに関われる機会を提供する」に関してでございます。

KPIについては、1つ目と2つ目の「若者アンケートにおける「守口市に愛着を感じているか」と「守口市民であることに誇りを感じているか」の肯定的回答」を新たに設定しております。

そして、「第3期戦略での新たな取組」については、拡充する取組として、「若い世代が守口市の施策に関われる機会の提供」、「市民が守口市に愛着・誇りを感じる機会づくり」、そして「産官学の連携による守口の魅力再発見」を記載しております。

簡単ではございますが、説明は以上とさせていただきます。

○委員長 どうもありがとうございます。

非常に山盛り状態ですが、実際に読まれて、特にここのところは気になるなということがありましたら、ぜひ御意見をお教えいただけたらと思います。

ます。

○委員 御説明ありがとうございました。充実した内容だと思いながら読ませていただきました。

2点ほど、個人的なアイデアを提案させていただくとすると、41ページの一番下の、公園・まちを美しく保つという項目については、市民の皆さんに、自分たちの公園とか、自分たちのまちという意識を持っていただくためにも、シニアボランティアだとか、園芸が好きな方々といったような、市民を巻き込むような施策も何か考えられるとさらに良いのではと思いました。最近の定年前後の方々は、以前より、若く、元気でパワーがある方が多い印象ですので、そういった方々に生きがいを感じていただくためにも良いのでは考えます。

あと、47ページに、「両親教室や父親を対象とした育児に関する講座に参加した人数」ということで、リアル参加の人数を目標にすることは、良いと思いますが、リアルに参加いただくことは、なかなか大変だと思いますので、その目標に加え、講座の様子を撮影し、コンテンツを作り、ホームページに掲載し、そのアクセス数を増やすような取組もされたらどうかと思いました。

○委員 御説明ありがとうございました。2点ほどございます。

1点目なんですけど、41ページのところで、基本的に戦略を基にK P Iの値とかも決めていくんだらうなと思っているんですけども、「第3期戦略での新たな取組」に、その公園施設の維持管理レベルの向上っていう点がかかれているので、何かそれに関するK P Iを定められるといいのかなと、個人的には思いましたというのが1点と、もう1点が32ページの「プレコンセプションケア」というのは、初めて聞いた言葉でして、具体的にどれぐらいの世代の方々をターゲットにするのか気になりました。

○事務局 公園の維持管理については、一定、指定管理業者にお願いしております。その辺をK P Iに落とせるかどうかというのはまた検討したいと思っております。

2点目の「プレコンセプションケア」については、結構幅広い内容を指しておりました、資料の32ページにありますように、特に若い世代が、御自身のライフプランを考えて、生活や健康と向き合うことを指しているんですけども、世代に関しては特にこうしたいというものではなくて、広い話でいくと、もちろんその学校とかでの教育も幅広く言えば、プレコンセプションケアの一つですし、妊娠されたときとか、不妊治療で悩んでいる方の相談を受け付けるような窓口も含めた推進という形を捉えて、ここは記載しております。ですので、対象自体は幅広い形といいますか、このジャンルの中では若い世代にターゲットを置いておりますが、そこの方だけにとどまらず、幅広い方の相談窓口の設置も含めて、取組として記載しております。

○委員 ありがとうございます。若い世代と書きつつも、世代問わずであれば、「若い世代」がいるのかなってというのが個人的に思ってて、今結構高齢出産の方とかも増えてきてるだろうなといったところで、あえて「若い世代」という記載がなくてもいいのかなと個人的に思いました。

○事務局 承知しました。また改めて、記載内容を検討していきます。ありがとうございます。

○委員長 このプレコンセプションという単語は、例えば分娩前とか何か括弧して、もう少し一般の人でも分かるような説明を括弧の中に入れておくのはいかがでしょうか。

○事務局 この案を作るときにもできる限り分かりやすい形で検討したものの、なかなか取っつきにくい部分がありますので、より分かりやすい形の表現を心がけて考えたいと思います。

○委員長 今コメントがありましたように、多分この文章では若いってというのは20代ぐらいをイメージされているんでしょうけども、その辺はもう少し幅広く、特に働いておられるお母さん方の出産はちょっとゆっくりめということもありますが、検討いただいたらと思います。

ほかにございますか。

○委員 御説明ありがとうございます。

私も、こちらにお邪魔するようになって、1年半を過ぎましたが、赤字のところを拝読いたしますと、この委員会で出た意見を結構反映していただいております、嬉しく感じています。具体的には、リアルなコミュニティにちょっと寄せてきていただいていたりとか、まちの活性化、商店街をどうにかしようとか、あるいは環境をよくしようとかってというようなところで反映をしていただいていると思うので、それに関してははすごくうれしく、やりがいを感じます。ありがとうございます。

31ページに記載されたキャリア教育の実施について、キャリアパスポートの効果的な活用によって、子どもたちが学びをキャリアに結びつけていく取り組みが今後進められるとのことですが、恐らくこれは文科省が作成した仕組みだと思います。私は詳しく知りませんが、子どもの時期からキャリア教育を進めていくことは非常に有意義だと思いますし、ぜひ進めていただきたいと考えています。

私は現在、ハローワークで中学校、高校に行って、キャリア教育のお手伝いをしています。管内の高校は全てほぼお伺いをしていますし、可能であれば若い方に対しても何かお手伝いできればと考えています。キャリア教育には、キャリアパスポートにのっかって順番に将来を考えていくというやり方と、実際にどうやってお仕事探しをするのかというリアルで体験していくものと2通りあります。ただ子どもたちが将来何になりたいかを考えたとき、基本的には子どものときに思った夢の8割、9割は実現できないんですね。でもそれは全然悪いことじゃなくて、子どものときに何かなりたいものを持つということが大事だと思います。子どものときにサッカー選手になりたいと思ったから、絶対サッカー選手にならなくてはいけないのではなくて、サッカー選手になりたいと思うきっかけを作って、大事にしていくということと、それと並行して夢がかなわなかったときに、こういうふうにしっかり仕事をしていくんだよという教育と、私は両方必要なんじゃないかなと思っているので、もしそういう機会があれば、私ど

ももお手伝いさせていただければというふうに思っています。ぜひ進めていただけたらありがたいです。

○委員　あまりうまく読み込めていないのですが、48ページの基本的方向3の部分のこの赤字で記載されている「学校施設、通学路の安全点検実施校の割合」とその下の「児童の生命や身体の安全を守るため、家庭・地域と連携した安全対策を講じている学校の割合」という部分について、これは初期値でもう既に100%になっているわけですよね。これは目指す値がマックスであって、120%、150%といった想定はないと思うんですけども、これは目指す値を何に持って行こうとされているのか、ちょっと理解できなかったんですけど、いかがでしょうか。

○事務局　この指標ですが、初期値として、既にR6は100%となっております。この安全な状況というのを維持し続けるというところも大事であると認識していますので、引き続き100%であることを維持するということを目指していきたいと考えています。

○委員　何年か前に高槻で、塀が倒れて子どもさんが亡くなられた事故があり、一斉点検というようなお話があったと思います。例えばこの中に点検の項目があると思うんですね。それが10個あるのか、30個あるのか、私もよく分からないんですけど、それで要は100%というのはそれが全て満たされているということを定期的に、例えば令和6年度はできているけども、令和7年度も定期的に例えばどこかの定点を決めて実施したか、しないかを図るという解釈で「維持」ということでいいのでしょうか。

それと、その下の家庭・地域と連携した安全対策というのは、ちょっと具体的にどういうことが想定されるのか、教えていただけるとありがたいです。

○事務局　「児童生徒の生命や身体の安全を守るため、家庭・地域と連携した安全対策を講じている学校の割合」についてでございますが、定義としては、小学校の登下校において、保護者等による通学班体制や地域による見守り隊の配置及び本市における警備員の配置などの対策を講じてい

る学校の割合という形で担当課と調整させていただいております。

○委員 御説明ありがとうございます。

14日に資料を送っていただいたということなんですけど、私は14日が不在だったので、昨日しか見る時間がなかったのですが、できればもう少し早めに送っていただくと助かるなというのが1点。

内容では、53ページの「第3期戦略での新たな取組」で書いていただいている「学力向上に向けた取組」について、ここはより細かく書かれているので、やっぱり教育というところは守口市に住みたい、永住したいと思ってもらううえで、非常に重要なことだと思いますので、しっかり書いていただいているのかなと思いました。

あと、前もお話した守口市のイメージについて、いろんな箇所に出てきているんですけども、このアンケートでは、住んでいる方はある程度地域はしっかり均等にアンケートを取っているのかなと思いました。私は守口に来て1年ちょっとですけど、何となく周りの話とかも聞いていると、守口の南部は比較的住みやすくなっている。一方、北部から東部のほうが若干住みにくい。そこが何となくイメージを左右しているのかなと思いますので、全部トータルにしてしまうと、例えば60%とかいう目標があるんでしょうけど、もしかしたら南部だけ見たら非常にそこは高く、ほかの地域は非常に少ないということであれば、その少ないところを重点的に何かやるとか、要は限られた予算で選択と集中だと思いますので、そういうことも考えたほうがいいのかと思いました。

あと、御説明いただいたところで、これは全体の話なんですけど、「第3期戦略での新たな取組」、「第2期戦略から継続する取組」は分かります。一方で、第2期戦略からなくなったところがなぜなくなったのかというところの説明が特になかったので、その説明があったほうがよりこういう過程で変わったんだなというのが分かるのかなと思いました。

○委員長 第2期戦略で、特にここはもうやめたというものはあるんでしょうか。ほぼそれを継続して、第3期でさらに付け足していったとのイ

メージでずっといたんですけれども。

○事務局 基本的には委員長がおっしゃっていただいたように、前期からをベースに拡充なり継続なりという形で作らせていただいております。幾つかなくなった項目もあったかと思えます。

○委員 まず1点目、気づいたところなんですけれども、17ページに円グラフが下に2つあるんですけれども、こちらグラフ名とグラフが一致していないということに気がつきました。それと、そこに目がいったので、守口市のイメージ、「良いイメージを持っている」19%という円グラフありますけれども、この円グラフが今回送っていただいた35ページにも、守口市のイメージという円グラフがあるんですけれども、それ見ていると、母数の数が違うし、パーセンテージの割合も若干変わっている。多分アンケート取った年次の差があると思うんですが、同じ資料の中で2種類の市のイメージの表があるとややこしいのかなと思ったので、時点修正をしていただければいいのかと思いました。

それとあと、過去2回の委員会におきまして、保育園の無償化とか高校生までの医療費の助成といった部分で、乳幼児の転入が多い。ただし、5歳ぐらいから転出が多くなってしまうという現状課題があるというお話があったと思うんですけれども、その5歳児とか小学校入学時点、中学校入学時点での転出をいかに防ぐのかという観点でのK P Iが欠けているのかなというふうに感じております。

基本目標の3番が子育てファミリー世帯の守口定住を促すということで、この現状課題に対する基本目標が3番目に掲げられているんですが、取組の基本的方向3項目ありますが、どこにもその転出を防ぐという要素での目標設定がなされていないので、これでいいのかという疑問を感じた次第です。

○事務局 確かに目標の3には、その0歳から9歳の転出を抑えるという形で設定をさせていただいております。具体的には、0歳から9歳、市内転居割合、これを70%にするという目標を設定させていただいております。

す。

こちら、具体的な方向性に関して、それぞれ3つの方向性を記載させていただいている中で、それに関する指標がないという御指摘があったかと思えます。この点に関しましては、最終的にそれぞれの取組については、各取組を何回したか、イベントを何回したかというような、専門用語でいいますと、アウトプットの指標をあえて置いています。それをすることによって、5年後、その転出が70%に収まったという、アウトカム指標というんですけど、そういう形で振り返って、結果はどうだったかという指標を大きな目標として置いています。それぞれの施策をやることで、結果として70%に収まる場所を目指すというような構成として置いていますので、具体的な目標を個々には置いてないというのが取組の体系的な部分の事情でございますので、よろしくお願ひいたします。

あと、グラフの部分については、御指摘のとおりですので、修正をさせていただきます。

○委員　今回、いただいている資料の45ページ、放課後児童クラブに関するところの一番下「「もりぐち児童クラブ入会児童室」以外にも、確保方策の不足が見込まれる小学校区における受け皿の確保及び利用者等の選択肢の拡大の観点から、民間の放課後児童クラブのさらなる設置促進を図ります。」というところについて、私も小学校に通っている子どもが2人いるので、民間の放課後児童クラブが少ないというところに関しては、とても共感しますが、民間以外にも市営のもりぐち児童クラブも選べるような形が取れたらありがたいなという気持ちがあるということと、民間の児童クラブ、既に幾つかあると思うんですけど、とてもいいお値段がするんですね。実を言うと、本当に入ろうと思うと、月に一人10万近くかかったりする。そのような中で、仕事して、預けて、その働いた分、半額ぐらいなくなりますみたいな、ちょっとどうなんだろうみたいなところが正直あります。なので今は、もりぐち児童クラブに行かせていますが、市の助成が受けれて、民間のものを活用できるだとか、そういった取組があると本

当に助かるなと感じました。

あとは、不思議だなと思ったものがありまして、56ページなんですけれども、こちらに書いてあるK P Iの下の段ですね。環境啓発イベントの参加人数で、令和7年が56人というのが、どういったイベントなのかが分かっていないのですが、すごく少ないように見えてしまいました。確認なんですけれども、これが何人に増えると、どううれしいのか、みたいなどころはあるのでしょうか。守口市の子どもの人数から考えるとすごく少ないように見えるので、ここがもっと増えるようなイベントっていうのを、例えば地域の市民のイベントとかと絡めてやるという形でやられるといいのではないかなというふうに感じました。

最後に、これもまた希望のところになるんですけれども、58ページのところの一番下のところで、「守口子ども議会」や「職場体験」といったところで、対象が中学生以上というように見えたので、小学生とかの頃からそういうところに関われるような機会が増えたらとても子どもたちも喜ぶだろうなというところもありますので、そこもぜひちょっと検討いただくとありがたいかなと思いました。

○事務局 ありがとうございます。3点御質問がありまして、まず1点目の児童クラブの部分でございますけれども、現在、児童クラブは各学校、全ての学校に設置しております。ただ、利用者が増えてきており、結構いっぱいになってきている、教室が狭くなっているみたいな事情が結構あると聞いています。その中で、今回こういう形の新たな取組として、民間事業者の部分を使ってという形で設定させていただいておりますが、資料に記載のとおり、もちろん市内学校で実施していますので、公立の児童クラブだけではなく、民間の児童クラブも利用いただくという方の選択肢の拡大という形で書かせていただいております。当然いいサービスを提供してくれるとか、長く預かってくれるという付加サービスを設けられた民間を利用される方もいらっしゃるの、そこは選択肢の幅を広げるという観点です。ただ一方で御意見あったように、当然今でもキャパが厳しい部分が

ありますから、その部分を、基本的には学校の教室を増やしていく方法をまず考えるんですが、それでも追いつかない部分は民間の児童クラブでそのキャパを埋めるとか、数を増やしていくみたいな方策もあると聞いていますので、そこはもう両方の観点から、もちろん公正でやりつつ、さらに民間のほうでもというような形で、受け皿を広げていくスタンスで、児童クラブに関しては進めていきたいと考えています。当然料金の部分が高いというのも、認識はしておりますので、その点は効率化しながら、民間もどっちも選んでいただける環境にしつつ、児童クラブはやっていきたいと思っております。

もう1点、環境啓発イベントの数が少ないという御指摘について、56人と記載はしておりますが、実際、民間事業者とも連携をする形で環境に関する啓発イベントは実施しております。例えばイオン大日の中で携帯電話の分解をするようなイベントや、SDGsを絡ませた環境に関する絵画展みたいなのをイオンで掲載して、そこに来ていただく方とか、見に来ていただく方の積算がこの数字になっていると思います。ただその部分についてはより多くのお子さんにお越しいただいて、その辺の部分を啓発して、こういった取組を進めているということ子どもたちに知ってもらいたいと思っておりますので、引き続きいろんな啓発、周知を絡めまして、実施していきたいと思っております。

また、子ども議会につきましては、毎年12月に議場を使用しまして、議会という形で子どもさんが議員さんになってもらい、開催しております。内容が中学生レベルとしているので、一応対象は中学生ということになっております。

なお、小学生も、全ての学校ではないんですが、毎年職場体験という形で、この市役所に来てもらって、この階に何があるよとか、こんな仕事しているんですよとか、もちろん議場を見に行ってもらったりというような、子ども議会ではないんですけども、この市役所という建物でどんなことをしているか説明をする取組は継続的にしていますので、ここには市内中

学生というような書き方していますけど、もちろん小学生に対してもそういう取組はこれまでも、これからもしていくことはやっておりますので、お願いします。

○委員 45ページの放課後児童クラブについて、子どもがこの4月から小学校に入学するのにイメージがあんまり湧かなくて、就学前健診で児童クラブの入会申込みが封筒に入れられていたんですが、それじゃあもう何のことかさっぱり。守口市は2種類あるみたいで、どれがどう違うのか文字だけでは分かりにくいし、夫婦でも話し合ったんですけど、どっちに入れるべきか、それはお金がかからないほうがいいなと思うけど、じゃあそっちで子どもの安全は確保できるのかっていうのも気になって、民間の学童も、学校の前に来てくれて、チラシ配ってくれたりして、何か所か見比べてもイメージが湧かないので、もうちょっとイメージが湧くような説明とか、分かりやすいものがあつたほうが、4月に向けての気持ちが固まりやすいかなというのは思いました。また、保育園に行っている間は保育料が無償なこともあつて、小学校に上がったら急にお金がかかってくるということが悩みです。本来かかっていたお金なんですけど。

あとは、47ページも一緒に、働きながら妊婦健診もあるのに親子教室、両親教室っていうのは日にちも限られており、行けないこともあるので動画とかにさせていただけるといつでも見返せるし、何か不安なとき何回も見れたりするので、動画にし、SNSを活用していただいたらうれしいなと思いました。

○事務局 まず、児童クラブの件に関しては、就学前健診のときに、ただチラシが入っているだけなので、イメージはつきにくいというのはおっしゃるとおりだと思います。より分かりやすくする工夫の余地はまだあるかと思うので、分かりやすい制度の御案内について、こども部にもフィードバックしたいと思います。

また、先ほどもありましたように、親子教室の動画に関して、確かに働きながらなかなか時間が取れないという事情も、おっしゃっているように

あるかと思えます。その辺りも一つの発信の方法として、分かりやすく、多くの方に見ていただける形で、今後検討できるかと思えますので、広報の方法は担当部局と話をしていきたいと思えます。

○委員 先ほどの発言の補足なんですが、キャリア教育が小さい頃からされるのはいいというふうに申し上げたんですけど、私、実は大学生とか専門学校生専門のハローワークにいてたことがありまして、正直その何かなりたいものがあったても、なくても、どちらでもいいんじゃないかと先ほど申し上げましたが、何かきっかけがあつてなりたいものができる人もいれば、それが無い人もいるんだと思うんです。ただそのときに来ていた若い方はみんな、自分にはなりたいものがないから駄目だとか、夢がないから駄目だとかっていう若い方がすごく多くて、別になりたいものはなくても就職して、そこでその仕事に向き合つて、その仕事が好きになればそれでいいだけの話なので、もちろんなりたいものが小さいときに見つかつて、それ一直線でなれたらそれに越したことはないかもしれないですけど、そういうものが全くなくても全然構わないし、ちゃんと方法があるんだつていうところを皆さんに教えていっていただけたらなということでした。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

37ページにあります、基本的方向の「「まちの魅力」を創造し、広く情報発信する」について、前も申し上げたと思うんですけど、SNSを使って発信するというのは今後ますます大切だと思うんですが、守口市に住んでいる市民の方に対して、こんなことがありますよつていう情報発信と、守口市に来てちょうだいつて言つて、市外の方に対してこんないいことがあるよつていう2つがあると思えます。実際そんなに簡単には2つに分かれないんでしょうけど。私のイメージとしては、結構田舎だと、もうまさに人口が減つており、移住してきてちょうだいつていうのがいっぱい出ているんですけども、そういう場合は割合1点豪華主義つていうんですかね。1つだけぴしつと発信して、10秒とか15秒とか30秒でいいんですよね。だからそういうのを守口で1つ、こんないいことがあるよつていうのを考え

ていただければ。これもこれもとって総花的にすると、何なんだったという事になっちゃいます。今はもう他の自治体がまねちゃったというか、同じになりましたけど、10年ぐらい前は守口市は赤ちゃんのサポートが物すごいよかったですよね。その辺が十分に分かっている人には分かっていたんでしょうけど、もっと積極的に伝えたらよかったかなと今になって思うんです。そういう対外的に、長いんじゃないで、本当にこう、T i k T o k じゃないですけども、あっという間に終わっちゃうぐらいで、ここがいいっていうのを一つ整理していただければ。

もう一つは、先ほど委員からもありましたように、ここに住んでいて、学童がどうのとか、なかなか分かりにくい。そういうのが分かりやすいような、ちょっと長めでもいいから丁寧な情報発信というのをうまく分けられたらどうかなと思います。

私はもう最近目が悪いから、なかなか本を読まなくなっているんですけど、印刷物はびっくりするぐらい読まないですよね。特に動画情報というのは今後はますます重要になるかと思いますので、ぜひ前向きに検討していただいたら成果が出るんじゃないかと思います。

それともう1点、今、私が勤めているところの学生さんは、もう4年生は大体就職が決まったんですが、やっぱり中学、高校のときに、家庭もあるでしょうし、学校もあるだろうけど、職業こんなのがあってって、職業はある程度腹積もりを決めて入学された方はもう割合早くに就職先が決まるんだけど、「私、何になりたいかは決まっていません」と、大学生になって言う方はなかなか大変なことが多い。

特に今、私が預かっているゼミなんかで、毎年警察官や消防士になりたい方はそれなりに公務員の勉強を1年生ぐらいからしないといけない。そんな人もありますので、やっぱり小学校は難しいですけど、中学、高校あたりの職業体験が今後ますます重要なかなと思います。そういう方たちがここにやがて将来定着してくれるんじゃないかと。そうでないと、どんどんどこかに行っちゃうようになるんじゃないかなという気はします。

それでは、この件につきましては、ここで一つ区切らせていただき、「その他」について、事務局から説明いただきます。

○事務局　それでは、「その他」として、次回の創生委員会について、御説明いたします。

次の第4回創生委員会は、先日日程調整させていただきましたとおり、12月9日火曜日の10時から開催いたします。

次回会議では、次期戦略の答申を予定しております。本日皆様から頂戴いたしました御意見を踏まえまして、事務局にて適宜修正し、答申（案）として固めてまいります。

会議前には、委員の皆様以案をメールで御提示させていただき予定ですので、よろしく願いいたします。

また、第4回の会議につきましては、資料が確定次第、送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

○委員長　ありがとうございます。

○事務局　先ほど御質問いただきました、削除になった事業があるかというところなんです、資料出てきましたので報告させていただきます。

第2期戦略からの拡充取組を継続するという形なんですけれども、1か所、養育支援訪問事業というのがあったんですけれども、これについては事業として継続はしているんですけれども、特にハイリスク家庭を支援する事業であるということで、この戦略に書く項目としてはなじまないというところで、1か所削除しております。

また、資料の送付につきましては、直前になってしまっている、次回は早めに送付するようにいたします。よろしく願いします。

○委員長　よろしく願いします。

それでは最後に、まだ言い忘れていた、何か御意見、コメントございますか。よろしいでしょうか。何かと問題が山積みしている中で大変だと思えますけど、頑張ってください。

議事録については、事前に各委員にご確認いただいた上で、事務局において作成をお願いすることとします。

どうも今日は本当にありがとうございました。

◇ 午後4時2分 閉会

~~~~~